

IPCC AR4 第1回スコーピング会議におけるWG3 関連事項

For 国内連絡準備会(030516)

山地憲治(東京大学)

(Everything in FSM is confidential)

1. 日程と主な討議テーマ

2003年4月14 - 16日: マラケシュ

- (1) 14日午前: 全体会議(ホスト国、議長、各WG 共同議長、横断的テーマ(CCT) 担当副議長): 気候変動問題(CC)と持続可能な発展(SD)の統合。7つのCCTのうち3件(Mitigation & Adaptation, SD, Technology)をWG3が主に担当。
- (2) 14日午後: WG3分科会: 今回の目的はKey Issuesの絞込みとPossible AR-4 Structureの提示。Key Issuesに関する自由討議。; 夜: WG2/WG3合同会議: Adaptation & Mitigation(AM)の総合評価。
- (3) 15日午前: WG3分科会: Key Issuesの整理(mitigation potential, sinks and non CO2 gases, spill over effects, technology, decision making)。5グループに分けて取り扱いを議論。Technologyグループでは水素、CO2回収・貯留、GTLなどの新項目を指摘。
- (4) 15日午後前半: WG3分科会: 5グループからの報告と質疑(途中で中断)。午後後半(1): WG2/WG3合同会議: CCTのSD担当者から報告。午後後半(2): 全体会議: シナリオグループ報告。各WG進捗報告。夜: WG3分科会: 5グループからの報告と質疑(継続)。Technologyについてはrevolutionary technology、IT、biotechなども考慮すべきとの指摘。
- (5) 16日午前: WG3分科会: 報告書の構成に関する議論開始。CC-SD、濃度安定化の長期パス、AM、地域性などの扱いを議論。いくつかの構成案を議論。
- (6) 16日午後: 全体会議: 各WG共同議長からの報告、CCT担当副議長からの報告、議長によるとりまとめ。

2. 最終的に提示されたWG3のAR4の構成案(まだ流動的)

1. General Context and Framework

2. Sector-based Mitigation (ST/MT - >LT)

2A. General/Intersectoral

2B. Mitigation in Emission Oriented Sectors

2C. Synergies/Trade-offs of Mitigation with SD(WEHAB)

3. Global Climate Regimes (links to adaptation, governance, international prospects)

4. Long-term Stabilization in Context of SD (implications for technology development and transfer)

3. 感想

- ・CC-SDは危険な濃度レベルとも絡み難問。
- ・長期技術、適応技術を含めて対象技術がより広範囲になりそう。
- ・社会科学者の参加が重要。
- ・若手の積極的な参加が必要。